

平成22年度 大阪教育大学附属特別支援学校

公開研修会開催要項

本校では、日頃の教育実践及び研究の成果をもとに、本校教職員等が講師となり、公開研修会を開催いたしております。この研修会を地域支援の一環とし、特別支援教育に携わっておられる先生方等と、より積極的な実践交流や情報交換を行い、共に専門性の向上に取り組んでいきたいと考えております。ご参加の程よろしくお願いたします。

	開催日時	研修テーマ ・ 概要	講師・定員等 *敬称略
1	8月25日 (水) 10:00 ~12:00	<p>「FBM(ファシリテーション・ボール・メソッド)の基礎と実際」</p> <p>ファシリテーション・ボール・メソッド (FBM) は、空気量を調整した柔らかいボール=ファシリテーション・ボール (FB) を媒介にした「からだ」への教育的アプローチ法です。FB によって重力の負荷が軽減されること (重力の免荷作用) を利用して、心身のリラクゼーションを促し、子どもの自発的な動作を引き出すことができます。</p> <p>今回の公開講座では、FBMの入門として体験をしていただきながら、楽しくFBMの基礎を学んでいただきます。</p>	<p>本校教諭 大島 昇 (FBMインストラクター)</p> <p>*定員： 30名 *実技を中心に行います。 運動できる服装、お茶、タオルをご持参ください。</p>
2	8月25日 (水) 13:30 ~15:30	<p>「小学部における『こくご』の取組み」</p> <p>小学部では昨年度、本学特別支援教育講座の井坂行男准教授と連携し「こくご」の授業において「支援的方法」に基づいた授業研究を「劇遊び」を題材に各グループで行ってまいりました。その、実践報告をさせていただきます。</p>	<p>本校 小学部教諭・ 本校元教諭</p> <p>*定員： 50名</p>
3	8月26日 (木) 10:00 ~12:00	<p>「てんかんがある子どもへの支援」</p> <p>てんかんの診断や治療には、発作を見かけた周囲の人からの報告・情報が役に立ちます。ビデオを見ながら、発作時の介助と観察のポイントをお伝えします。学校で役に立つさまざまな支援例も紹介します。</p>	<p>本校教諭 坂下 茂</p> <p>*定員： 30名</p>
4	8月26日 (木) 13:30 ~15:30	<p>「多様な動きをつくる運動(遊び)」</p> <p>新学習指導要領では、「体づくり運動」を小学校低学年から取り組むようになり、「多様な動きをつくる運動 (遊び)」が規定されました。また、知的な障がいのある子どもや発達障がいのある子どもたちは、動きのぎこちなさの課題があります。</p> <p>本年度小学部の「うんどう」授業では、ムーブメント教育・療法の手法を取り入れ、カラーフープやカラーロープ等の遊具や音楽を取り入れ取り組んでいます。小学部での実践を紹介し、実技を通して「多様な動きをつくる運動 (遊び)」について、一緒に研修しましょう。</p>	<p>本校教諭 金川朋子 郡 千春 芥川 豊和 湊野 豊</p> <p>*定員： 60名 *実技を中心に行います。 運動できる服装、体育館シューズ、お茶、タオルをご持参ください。</p>

《参加を希望される方へ》

1. 研修会場及び申し込み先（問い合わせ先）

E-mail : fuyoken@cc.osaka-kyoiku.ac.jp 申し込みはメールを基本とします。

- ① 氏名
② 所属
③ 希望講座
④ 連絡先
- を記入して、メールでお申し込みください。

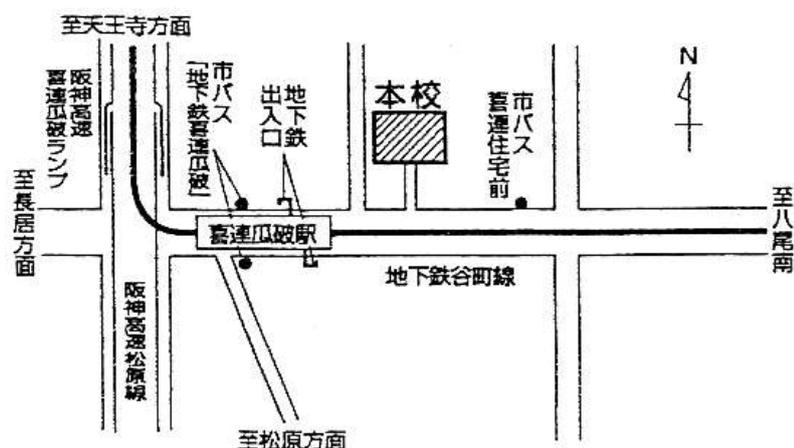
- * 定員になり次第締め切らせていただきます。
定員になりました講座は本校のホームページに記載いたしますのでご覧ください。
- * 連絡がない場合は参加可能とお考えください。不明な場合はお問い合わせ下さい。

2. 研修会の資料代について

- ・資料代は各講座 ¥500とさせていただきます。
- ・当日、受付にてお支払いください。

3. その他

- ・講座によっては実技を行います。持ち物、服装などご準備ください。
- ・昼食については、持参されるか学校周辺の飲食店をご利用下さい。
- ・駐車設備がございませんので電車、バスをご利用下さい。



大阪教育大学附属特別支援学校（研究部研修係）

〒547-0027 大阪市平野区喜連4-8-71 （上記の地図をご参照ください）

TEL 06-6708-2580・2590 FAX 06-6708-2380